



カーボン・フットプリントの算出における先駆者

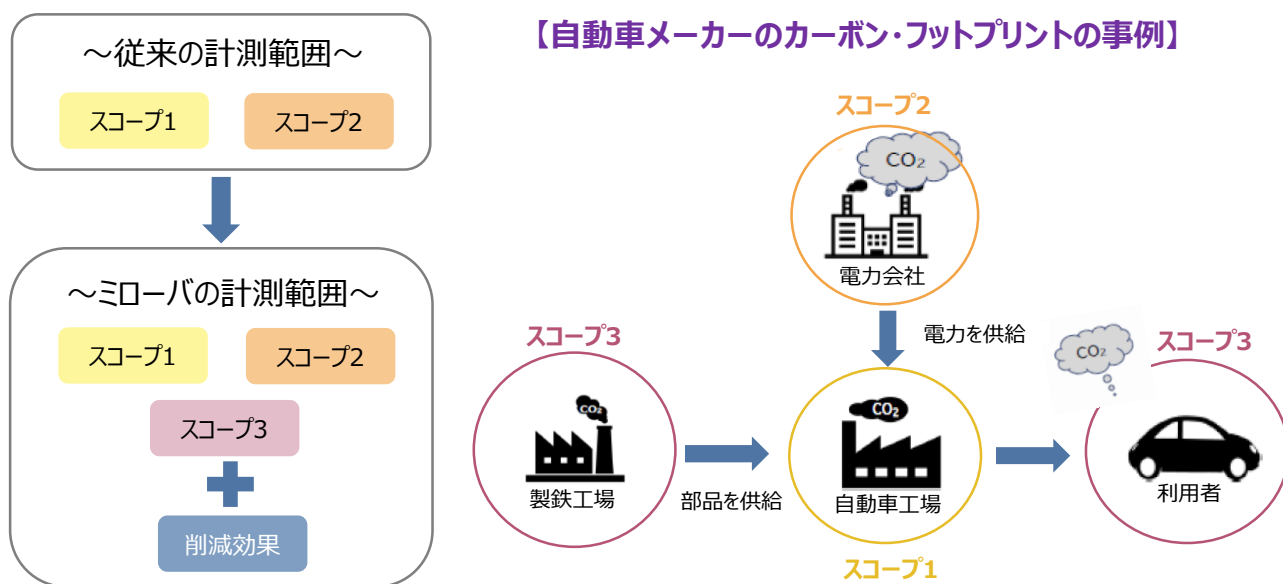
ミローバは、2016年よりカーボン・フットプリントの**新たな算出手法を開発・導入した**資産運用業界における**先駆者**です。

カーボン・フットプリントとは、商品やサービスの原材料の調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して**排出される温室効果ガスの排出量を二酸化炭素（CO2）に換算し「見える化」**する仕組みのことで、気候変動が問題視される今、世界的に注目されています。

① スコープ3に範囲を広げてCO2排出量を算出

■ 企業が自社製品のライフサイクルを通じて誘発するCO2排出量について、

従来の**スコープ1（直接排出量）**と、**スコープ2（間接排出量）**から、原材料や製品使用などの**スコープ3（サプライチェーン全体の排出量）**に範囲を広げて算出。



製品の利用等に伴うCO2排出量への影響も含めたスコープ3まで範囲を広げて算出をすることで、より実態に近づけたCO2排出量の把握が可能となります。

例えば、通常のガソリン自動車の場合、その利用に伴うCO2排出量の増加は大きくなりますが、一方で、ガソリン自動車の利用が電気自動車にシフトしていけばCO2排出量の削減効果が反映されます。

※ 上記は作成時の内容であり、今後、予告なく変更する場合があります。また、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。



② ミローバのCO2排出量算出の流れ

- ミローバは、カーボンフォー社と共同開発したカーボン・インパクト分析(CIA)に基づく推計データを算出しています。
カーボンフォー社は環境課題の評価・分析を専門とするコンサルティング会社であり、気候変動へ積極的に取り組むフランスの金融機関などと共同で分析手法を開発しています。
- まず、各セクターに適応した評価フレームワークに従って、各企業を個別に評価します。
エネルギー生産者、炭素集約型部門(エネルギー、産業、ビル、運輸、農業)、低炭素型ソリューションを提供する企業は、**気候への潜在的影響力が大きい**ため、特に注目します。
- 次に、各企業の個別炭素評価をポートフォリオレベルで集計し、二重計上を考慮して計算します。

③ 2℃の地球温暖化シナリオと連携したポートフォリオ

- ミローバは、**パリ協定における2℃の地球温暖化シナリオ**（世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2℃未満に抑えるシナリオ）と**連携したポートフォリオ**を構築しています。
ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンドにおける気候温暖化へのインパクトは下記の通りです。

※最新の情報は、別途毎月提供している情報提供資料にて開示しております。

2022年6月末時点 (単位:トン)	ファンド  2℃未満	参考指数  3.5 - 4.0℃
投資先のCO2排出量 (投資金額100万ユーロあたりのCO2)	54.8	130.7
投資先のCO2削減量 (投資金額100万ユーロあたりのCO2)	13.8	7.2
ミローバ・カバー率	100%	99%

※左表における投資先のCO2排出量とは、対象企業の製品、サービス等の全ライフサイクルを考慮した排出量を分析・計測したものです。

※投資先のCO2削減量とは、対象企業の製品、サービス等（エネルギー使用）の効率化による削減効果や各種グリーン・インパクトによる削減効果を分析・計測したものです。

※参考指数はMSCI KOKUSAI INDEX（ドルベース）です。

※**ミローバについて**（ミローバ社並びにミローバUS社等の子会社を合わせて、ミローバといいます）

- ミローバ社（在フランス）は、1984年に前身であるオストラム社の運用チームの1つとしてサステナブル投資を開始し、同分野では高い評価を得ています。
- ミローバUS社は、ミローバ社の米国子会社であり、グローバル・サステナブル株式運用を担当しています。
- ミローバ運用資産総額 302億米ドル（2022年3月末現在）

※ 上記は作成時の内容であり、今後、予告なく変更する場合があります。また、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。
必ずご確認ください。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

■ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンドの特色

- 1 将来の世界を形成する4つの長期的なトレンドに伴う課題に解決策を提供できる企業へ投資し、中長期的な運用成果の向上とサステナブル（持続可能）な社会の実現に資することを旨とします。
- 2 個別企業の戦略的ポジショニング、財務構造、経営者の資質、ESG分析等による質的評価、企業価値評価に基づき、個別銘柄選択を通じてポートフォリオを構築します。
- 3 ミローバ・ユーエス・エルエルシー（ミローバUS社）に運用を委託します。
サステナブル投資に特化した運用会社であるミローバ社の米国子会社であるミローバUS社に、マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限を委託します。
- 4 実質組入外貨建資産については、原則として、対円で為替ヘッジを行いません。なお、対米ドルでは、円以外の通貨にかかる外国為替予約取引を行うことがあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

■投資リスク

ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。ファンドは預貯金と異なります。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、「流動性リスク」などがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3%（税抜3.0%） を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に年 1.804%（税抜1.64%） の率を乗じて得た額
その他の費用・手数料	以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ・ファンドの監査費用（ファンドの日々の純資産総額に年0.011%（税抜0.01%）の率を乗じて得た額。ただし年44万円（税抜40万円）を上限とします。） ・有価証券売買時の売買委託手数料 ・先物・オプション取引等に要する費用 ・資産を外国で保管する場合の費用

※ファンドの費用（手数料等）の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第301号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、「ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。